

## 打ち水で地球温暖化防止を！ 白石城下打ち水大作戦

打ち水で地球温暖化防止の一翼を担おうと8月12日、すまいるひろばで白石青年会議所（奥山謙一理事長）が主催する「白石城下打ち水大作戦」が行われました。

打ち水は、来客への心遣いの一つですが、道のほこりを抑えるほか、夏場はまいた水が蒸発することで熱を奪い、気温を下げる効果もあります。会場では、白石市第一児童館の児童など約70人が花火を合図に一齐に打ち水を行いました。これからも、お風呂の残り水など不要となった水を利用した「打ち水」をお願いし、良き風習の再現と地球温暖化防止を訴えていくことにしています。



▲エコレンジャーと一緒に「打ち水」を行う子どもたち

## 仙南地区の中学生が自己の成長エピソードを披露 第29回少年の主張仙南地区大会



▲表彰を受ける小原中学校の齋藤佳奈子さん（写真右）

8月29日、南中学校体育館で29回目となる少年の主張仙南地区大会が開催されました。「仙南地区青少年のための市町民会議協議会」が主催した大会には、一次選考を通過した仙南地区の中学生14名が会場。障害を持つ弟との生活や祖母の介護、部活動での経験、環境問題などをテーマにした成長エピソードを次々と披露しました。

本市からは4名の中学生が会場。小原中学校3年の齋藤佳奈さんが発表した、がんで亡くなった祖父を巡るエピソード「祖父への思い」が最優秀賞に選ばれました。齋藤さんは、9月下旬開催予定の県大会に出場します。

## 元気に100歳を迎えました 高原つよのさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲ご家族の温かい思いに包まれるつよのさん

9月13日に満100歳の誕生日を迎えた高原つよのさんのもとを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、ご長寿を祝福しました。つよのさんは村田町のご出身で、結婚後は5人の子育てに奮闘されました。若いころから、遠方の山まで山菜を採りに行くほどのしっかり者。大変オシャレで、明治生まれには珍しく、コーヒーも大好きとのことです。現在は大手町の介護老人保健施設「清風」で穏やかに過ごしているつよのさん。清風初の100歳到達者とのことで、ご家族のほか、たくさんの入所者が集まり、つよのさんのご長寿を祝福しました。

## 患者の心を癒やす懐かしのメロディー 第27回刈田病院ロビーコンサート

8月20日、公立刈田総合病院で27回目となるロビーコンサートが開催され、ハーモニカ演奏グループの「カトリア仙台」の皆さんが、患者やその家族、病院関係者など約50名の前で美しい音色を披露しました。

カトリア仙台は、県内の公民館イベントなどで広く活動しており、この日も「患者の心を少しでも励ましたい」と、開始から「カッコウワルツ」や「青い山脈」などの名曲を次々と披露。来場者も懐かしいメロディーに思わず歌詞を口ずさんだり、手拍子を打ったりするなど、全員でハーモニカの演奏を楽しみました。



▲大小さまざまなハーモニカを使って名曲を演奏

## 今年は1勝1引き分けで白石市の勝利！ 海老名市・白石市姉妹都市親善野球交流大会

今年で17回目を迎える海老名市・白石市姉妹都市親善野球交流大会が、8月23日に益岡公園野球場で開催されました。この日は、例年のような炎天下の大会とは違い、8月下旬としては肌寒い中での試合となりました。

前日にバスで本市に到着した海老名市選抜チームの子どもたちは、本市選抜チームの子どもたちの家庭にホームステイして交流を深めながら、試合に臨みました。

第1試合は、0対0の投手戦となり、最終回7回の裏、白石Aチームに連続ヒットが飛び出し、サヨナラ勝ちを収めました。また、第2試合は、1点を争う好ゲームと



▲両チームともファインプレーが次々に生まれた野球大会



▲激しいボールの奪い合いとなったサッカー大会



合同けいこも行われた剣道大会

なりましたが、雨が強くなったため、6回4対4の引き分けで試合を終了。本市の1勝1引き分けという結果になりました。10月には、本市の選抜チームが海老名市を訪問し、交流試合を行うことになっています。

また、8月上旬には、同じく海老名市からサッカーと剣道の選手団、総勢41名が本市を訪問。白石川サッカー公園と福岡中学校でそれぞれ試合やけいこを行い、交流を深めました。平成6年の姉妹都市提携から14年。少年スポーツ交流や観光・物産交流などを通して信頼と友情の輪を広げてきました。今後も友好関係を深めるため、さまざまな交流事業を行っていきます。

## 歌でまちににぎわいを！ しろいしをうたう「第3回菊池嘉雄作曲展」



▲絶妙な音の演出に聴き入る来場者の皆さん

9月6日、壽丸屋敷でしろいしをうたう第3回菊池嘉雄作曲展が「箏曲朋美会と仲間たち」と題して開催されました。蒸し暑い日となったこの日は、約50人の皆さんが会場に詰め掛けました。白石の歴史や風物などを題材にした曲に、時折吹く涼しい風が運ぶ庭の水音と歌声が交わり、会場いっばいに響き渡りました。

このイベントは、壽丸屋敷でにぎわいづくりを行おうと、本年6月から4回シリーズで開催しています。次回は最終回、10月11日（土）に同会場で開催されます（30ページにお知らせ記事を掲載）。

## 「工業」を軸に高校と大学の連携を深めよう 白石工・東北工大の高大接続研究事業

高校と大学の垣根を越えて、幅広い連携を模索する白石工業高校と東北工業大学。5月以降、2つの教育機関では5回にわたり、大学からの講師派遣や大学での高校生の受講など、相互連携の強化に取り組んできました。

9月10日の最終回では、同大学の今野弘副学長が講義を行ったほか、全課程を修了した26名の生徒に修了証が授与されました。本年度に行われた全5回の取り組みは今後のためのテストケース。生徒の評判も上々で、10月以降、2年生を対象に期間も1年に拡大して本格的な事業を開始するとのことです。



▲今野副学長から修了証を授与される生徒代表